

ちょっと、ほっとする記事になりました♪

平成 17 年 7 月 7 日(木) 日経新聞

コラム「記者手帳」より

日本経済新聞

夕刊
7月7日

木曜日

■「読み聞かせ」が大事 有村治子氏



「心に響く言葉のリズムを感じてほしい」。自民党の有村治子参院議員(34、写真)は初当選直後の二〇〇一年十月から、本の「読み聞かせ」推進運動の一環として毎週土曜にラジオ大阪の三十分番組「はこの声の図書館」に出演している。毎回、童話と童謡を二つずつ紹介。選挙公約で「使える英語の普及」

記者
手帳

心にリズム、自身の活力源にも

を掲げたこともあり、英語の童謡を取り上げることもある▼「読み聞かせ」と聞くと親が子どもに絵本を朗読する場面を連想しがちだが、番組のリスナーはさまざま。体の不自由なお年寄り、患者さんと一緒に耳を傾ける看護婦さん、週末の掃除・洗濯を終えて一息ついたサラリーマン……。「ほんわかとした気分で」と銘打っている番組らしく、「リラックスする」「昔が懐かしい」などの感想が多い。多い月だと百通近く届くはがきを讀むと「あらゆる世代に求められている」と実感するそうだ▼〇三年には長女が生まれ、母親としても読み聞かせに一段と力が入るようになった。「どんなに疲れて帰っても、子どもに絵本を読み聞かせることで自分も心が休まる」。子どものためと同時に自身の活力源でもある。

(真)